



株式会社 郵愛

〒151-8502

渋谷区千駄ヶ谷1-20-6

FAX (0120)779-783

TEL (0120)025-315(自動車保険)

(0120)025-375(総合保険)

(0120)025-915(がん保険)

(0120)221-220(医療共済)

郵愛の年末年始の営業(取扱)について

1 郵愛の営業時間(電話等のお取扱時間)

年内最終受付 2023年12月28日(木) 9時～17時
年初受付開始 2024年01月04日(木) 9時～17時

※12月29日(金)～1月3日(水)はお休みとさせていただきます。

2 交通事故の受付

年末年始期間の交通事故報告先
三井住友海上火災「事故受付センター」

24時間対応 TEL 0120-258-365(通話無料)

3 三井住友海上カスタマーセンター(業務委託先)

○「自動車総合デスク」(新規サポートデスク) (自動車保険の新規契約・お見積り)

年内最終受付 2023年12月30日(土) 9時～17時
年初受付開始 2024年01月04日(木) 9時～18時
TEL 0120-189-282(通話無料)

○「契約内容変更デスク」 (自動車保険の契約内容変更)

年内最終受付 2023年12月30日(土) 9時～17時
年初受付開始 2024年01月04日(木) 9時～18時
TEL 0120-271-889(通話無料)

インターネットでの自動車保険料試算なら、お休み期間も利用可能です。
(「JP労組福祉共済コーナー」から郵愛サイトにお入りください。) <http://www.jprouso.or.jp/welfare/yuuai/>



「年越しそば」の意味・由来は?



大みそかの夜は「年越しそば」を食べるというご家庭も多いのではないでしょうか?では、なぜ年末の日に「年越しそば」を食べる風習が広がったのでしょうか?今回は「年越しそば」の意味や由来をご紹介します。

「年越しそば」の風習は江戸時代中頃から。

「年越しそば」の風習が始まったのは江戸時代の中期頃と言われています。細くて長いそばは、家や財産が長く続くよう願う縁起物であり、あわただしい大みそかに店や屋台などで手軽に食べられることと、「旧年の災厄を断ち切る」「新年の運気をあげる」などの意味で風習となり、「年越しそば」と呼ばれるようになりました。



「年越しそば」はいつ食べるのが良い?

「年越しそば」は、12月31日中であればいつ食べても良いとされています。食べるタイミングによる縁起の良し悪しもありません。ただし、「年越しそば」は年内に食べ終わるのが良いとされています。前述のように、「年越しそば」には「旧年の災厄を断ち切る」「新年の運気をあげる」などの意味があるため、新年になる前に食べ終えたほうが良いとされているからです。深夜0時になる前に食べ終わるようにした方が良いでしょう。

「年越しそば」は、新年を迎えるための習わしのひとつです。旧年中に食べて、気持ちよく新年を迎えましょう!

安全運転の ポイント



運転中に豪雨や強風に見舞われたり、地震に遭遇することがあります。今回は、こうした異常事態への対応の仕方をまとめてみました。



豪雨時や強風時の対応

豪雨時や強風時の対応については、気象庁から公表されている「雨の強さと降り方」及び「風の強さと吹き方」が参考になります。下表は、それを基に作成したものですが、雨の場合は「ワイパーを速くしても見づらい」状況、風の場合は「通常の速度で運転するのが困難になる」状況が、運転を中止する目安とするのが望ましいでしょう。

なお、豪雨時は毎年のように車の水没事故が発生していますから、アンダーパス（立体交差により、周辺より低くなっている道路）など冠水の危険が大きい場所を走行するのは絶対に避けましょう。

【雨や風の強さと運転への影響】

雨の強さ	1時間 雨量 (mm)	屋外の様子	車に乗っていて	人への影響
やや強い雨	10以上 20未満	地面一面に水たまり ができる。		地面からの跳ね返りで 足元が濡れる。
強い雨	20以上 30未満		ワイパーを速くしても見づらい。	
激しい雨	30以上 50未満	道路が川のようになる。	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じ ブレーキが効かなくなる (ハイドロブレーニング現象)。	傘をさしていても濡れる。
非常に激しい雨	50以上 80未満	水しぶきで、あたり 一面が白っぽくなり、 視界が悪くなる。	車の運転は危険である。	傘は全く役に立たなくなる。
猛烈な雨	80以上			
風の強さ	平均 風速 (m/s)	屋外の様子	車に乗っていて	人への影響
やや強い風	10以上 15未満	樹木全体が揺れ始める。 電線が揺れ始める。	道路の吹き流しの角度が水平になり、 高速運転中では横風に流される感覚を受ける。	風に向かって歩きにくくなる。 傘がさせない。
強い風	15以上 20未満	電線が鳴り始める。 看板やトタン板が 外れ始める。	高速運転中では横風に流される感覚が 大きくなる。	風に向かって歩けなくなり、 転倒する人も出る。
非常に強い風	20以上 30未満	細い木の幹が折れたり、 根の張っていない木が 倒れ始める。	通常の速度で運転するのが困難になる。	何かにつかまっていないと 立っていられない。
猛烈な風	30以上 35未満	看板が落下・飛散する。 道路標識が傾く。	走行中のトラックが横転する。	屋外での行動は 極めて危険。
	35以上	※省略		

(気象庁 平成29年9月「雨の強さと降り方」「風の強さと吹き方」を基に作成)





地震への対応

▶ 運転中に緊急地震速報が出されたとき

緊急地震速報は、予想される地震動の大きさがおおむね震度5弱以上である場合に、震度4以上を予想した地域を、その揺れが来る前に発表されます。

車を運転中に緊急地震速報が発表されたことを知ったときは、周囲の状況に応じて、慌てることなく、非常点滅表示灯をつけるなどして周囲の車に注意を促した後、急ブレーキを避け、緩やかに速度を落としましょう。

▶ 運転中に大地震が発生したとき

運転中に大地震が発生したときは、ドライバーは次のような措置をとるようになります。

- ①急ハンドル、急ブレーキを避けるなど、安全な方法により道路の左側に停止させましょう。
- ②停止後は、カーラジオ等により地震情報や交通情報を聞き、状況に応じて行動しましょう。
- ③引き続き車を運転するときは、道路の損壊、信号機の作動停止、道路上の障害物などに十分注意しましょう。
- ④車を置いて避難するときは、道路外の場所に移動しておきます。やむを得ず道路上に置いて避難するときは、道路の左側に寄せて駐車し、エンジンを止め、エンジンキーは付けたままで運転席などの車内の分かりやすい場所に置いておき、窓を閉め、ドアはロックしないようにします。駐車するときは、避難する人の通行や災害応急対策の実施の妨げとなるような場所には駐車しないようにしましょう。



走行中の車両トラブル等への対応

▶ 走行中にタイヤがパンクしたとき

ハンドルをしっかりと握り、車の方向を直すことに全力を傾けます。

急ブレーキを避け、断続的にブレーキを踏んで止めます。

▶ 後輪が横滑りを始めたとき

ブレーキはかけずに、まずアクセルを緩め、同時にハンドルで車の向きを立て直すようにします。

この場合、後輪が右(左)に滑ったときは、車は左(右)に向くので、ハンドルを右(左)に切ります。

▶ 下り坂などでブレーキが効かなくなったとき

手早く減速チェンジをし、ハンドブレーキを引きます。それでも停止しないようなときは、山側の溝に車輪を落としたり、ガードレールに車体をすり寄せたり、道路脇の砂利などに突っ込んだりして止めます。

冬も水分補給を心がけ、 健康な新年を迎えましょう!



人間の体の約60%は水分で、毎日食べ物や飲み物などから2~2.5lの水分を摂取し、尿や便、汗などで体からほぼ同量の水分を排出しています。これは季節が変わってあまり変化がありません。

これから寒くなる時期、熱中症の危険は去りましたが、水分補給の重要性は夏場と変わっていません。



脳卒中、心筋梗塞などの
予防に水分補給が大切。

寒い冬場には、脳卒中や心筋梗塞の発症リスクが高まります。これは寒くなったことで血圧が上昇することも一因ですが、水分補給の減少にも大きな関係があると言われます。寒くなって汗をかかなくなり、ノドの乾きを自覚にくくなる冬場は、どうしても水分摂取が少なくなります。水分摂取が少ないと、血液の粘度が上がり、いわゆる『ドロドロ』の状態になります。ドロドロ血液によって血管が詰まりやすくなり、結果として脳卒中や心筋梗塞を引き起こす可能性が高くなります。脳卒中、心筋梗塞など怖い病気の予防のためにも、冬場も水分補給が大切です。



忘年会や新年会の機会に、
積極的な水分補給が大切。

年末を迎えるこの時期から年明けの時期は、忘年会や新年会など飲酒の機会が多くなります。お酒を飲むと喉が渴くことは多くの方が経験されていると思いますが、アルコールには利尿作用があるため、飲酒が過ぎると体は脱水状態になります。

アルコールを飲んだら意識的に水分を補給して、脱水状態を防ぐことがとても大切です。



風邪やインフルエンザの
予防対策に水分補給が大切。

寒さが増してくると、風邪やインフルエンザにかかる人が増えてきます。こうした風邪やインフルエンザの予防対策として、『うがい』『手洗い』などが知られていますが、これに加え、『水分補給』も大切な予防対策です。

風邪やインフルエンザの原因となるウイルスは、乾燥した状態で活発に活動、反対に湿度50%以上になると活動が急激に低下します。

水分補給はノドや鼻の粘膜をうるおし、ウイルスの侵入を防ぐと同時に、侵入したウイルスを痰や鼻水によって体外に排出する作用を助けます。また、風邪をひいてしまったら発熱や食欲低下、下痢、嘔吐などの症状により、体からの水分排出が多くなりますので、普段以上にきちんと水分を補給します。

Check

大丈夫？



- ・冬にあまり水を飲まない
- ・暖房器具の温度を低くしている
- ・お部屋の加湿をしていない
- ・飲酒時に水分をとっていない



この1年間弊社に対しまして、
格別のご愛顧を賜り感謝申し上げます。
来るべき新年も全力で頑張りますので、
引き続きご愛顧をよろしくお願ひいたします。